

# 第5章

## プランの推進



この「みよし教育プラン」を推進するためには、Plan（計画）－Do（実行）－Check（評価）－Action（改善）という、いわゆるPDCAサイクルを確立し、計画の推進状況を的確に把握することが必要です。

私たちは、教育の主体となる家庭・地域・学校にはたらきかけ、関係部局が連携を図りながら、総力を挙げてプランの推進に取り組めます。

基本理念「学ぶ楽しさで、人と人とをつなぐ」のもと、次のようなPDCAサイクルを確立し、プランを推進することで、目指す人間像に迫ります。

## **Plan** プランの幅広い周知

本プランを推進するには、教育の主体である家庭・地域・学校と、それらの取組を支援する行政とが、同じ目標を持つことが大切です。

本プランは、各関係機関に配布するだけでなく、「広報みよし」などを通して市民にも広く伝えることで、幅広い層への浸透を図ります。また、市の教育に重要な役割を果たす学校に対しても、さまざまな機会を捉え本プランの実現を促します。

## **Do** 計画的なプランの実施

教育委員会をはじめとする市の関係部局が総力を挙げて家庭・地域・学校を支援し、プランの実施を進めます。特に、「20の作戦Plus One」に係る重点施策には、毎年の進行計画が設定されているので、それに従い各事業を実施していきます。

本プランに示された計画は、97項目にも及び幅広いものなので、最も効果が上がるよう優先順位を考えながら計画的な実施に努めます。

# Action プランの改善

みよし市教育振興基本計画推進委員会や教育委員会の点検・評価で、有識者や市民の代表からいただいた助言をもとに、必要に応じて見直しを加えます。

この見直しは毎年行っていきますが、計画策定から10年が経過する令和8年には、第2次みよし市教育振興基本計画を策定予定です。

時代の変化にもしっかりと対応し、常にプランに改善を加えることで、実効性のある生きた計画とします。

# Check プランの推進状況の把握と評価

本プランを強かに推し進める原動力となる「20の作戦Plus One」に係る重点施策を中心に、取組の進捗状況とその成果の状況を、毎年事務局が取りまとめます。成果の状況については、行政が行う各種調査に加え、2年に一度教育に関する市民アンケートを行い、その結果から把握します。

その取りまとめたものをもとに、みよし市教育振興基本計画推進委員会を開催し、プランの推進状況を、外部の有識者や教育に関わる市内の各団体と共に把握し、その課題や問題点を探ります。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成19年4月）に示されている、教育委員会の点検・評価でも、本プランの推進状況を外部委員に点検・評価していただく予定です。

